The Kobe Marine Observatory
JOURNAL OF OCEANOGRAPHY
2nd Series Vol. 9 No 1

海 洋 時 報

第2輯 第9巻 第1号
昭和33年4月

目 次

神 戸 海 洋 気 象 台

1957年台風概要（その2）

(Summary of Typhoons in 1957, Part 2)

§概報

その1で概報したように今年前半の台風活動は弱く特に例年最も多数発生する8月の個数が少なかつたが、9月に入つて矢継早に発生して平年並に返えり、此の状態は10、11月と続いたが、12月は一個の発生もみなかつた。全部本邦遙か南方洋上を通過し、本邦にとつては平穏な台風期であつた。

月別発生回数は次表の通り。

月	9	10	11	12
台風発生回数	5	4	3	0

各台風の経路は図A、Bに示す。

§2 個々の台風について

（I）台5711 CARMEN　9月9日—15日

台風10号が西日本に上陸中の9月7日ルソン遙か東方洋上に弱い熱低が発生し、ゆつくり北西に進行している様子であつたが、9日に至り、15時の飛行機観測で中心最大風速65ノットを観測し、Typhoon と確認された。その後停滞に近い状態で勢力を増していたが、11日に至つて南下を初め、異常コースをとつた。12日より進路は正常にもどり、13日バリンタン海峡に入つたが、此の頃盛力は最大となり、中心気圧960mb 最大風速100ノットとなつた。14日南支那海北部に入つてから進路を北西に変え、次第に衰弱しながら15日南支に上陸、16日早朝温低化した。

日	時分	中心位置 緯度	中心位置 経度	中心気圧	最大風速	記事
7	0900	19.0	130.0	1004		
8	0900	20.0	129.5	1006		
9	1500	21.3	126.1	990	65	{Typhoon となる*
10	0900	21.4	125.7	980	80	
11	0900	20.7	125.2	970	80	
12	0900	19.8	123.2	965	70	
13	0900	19.8	122.3	960	100	
14	0900	21.0	119.8	965		
15	1200	23.8	117.0	985	50	

（註）*は飛行機観測によることを示す以下の表もこれにならう。

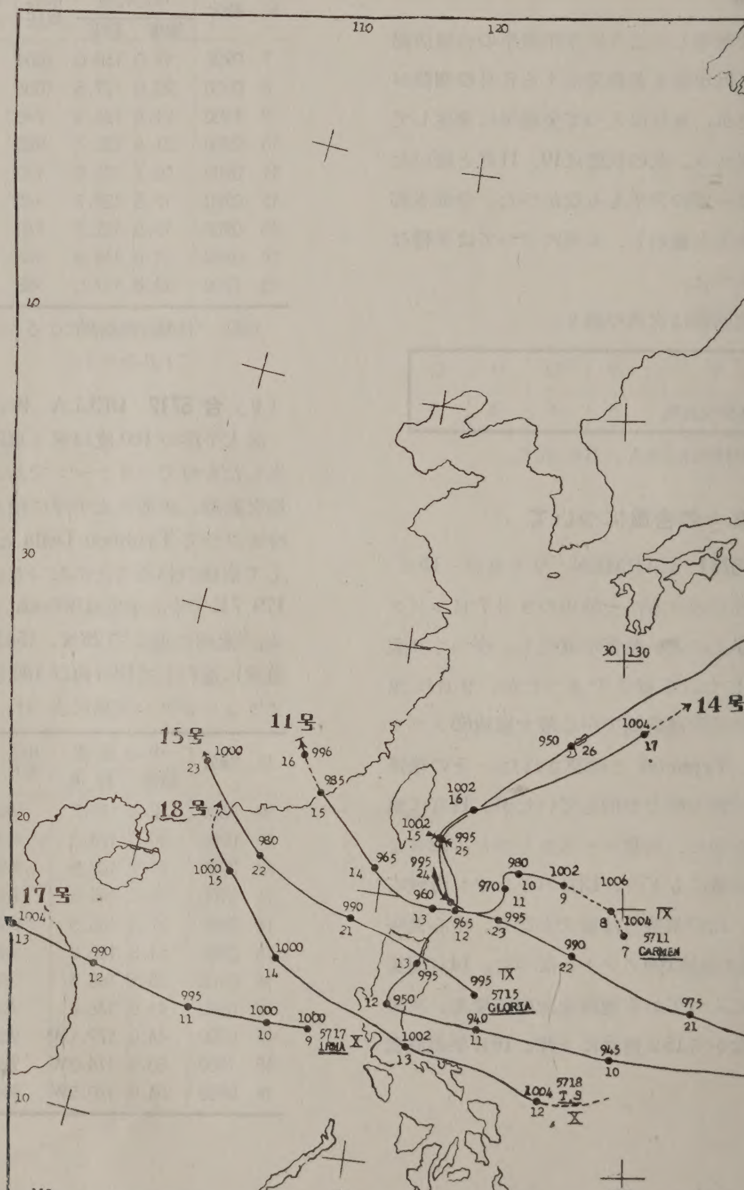
（II）台5712 DELLA　9月10日～17日

北太平洋の180度以東（東部北太平洋）に発生したものでハリケーンであるが、10日180度線を通過、西部北太平洋に侵入したので、その時を以つて Typhoon Della と命名、台風5712として取扱われることになつた。位置は19.6N、179.7Eで中心示度は965mb、10日の03時である。北西に進んで28N、154Eで北東に転向、急速に進行して18日再び180度線を通過、19日アリューシャン列島に去つた。

日	時分	中心位置 緯度	中心位置 経度	中心気圧	最大風速	記事
10	0300	19.6	179.7	965	100	
11	0900	20.0	176.0	975		
12	0900	21.9	169.5	965		
13	0900	25.0	163.0	965		
14	0900	27.5	155.5	960		
15	0900	31.5	155.0	965		
16	0900	35.5	165.5	965		
17	0300	41.0	176.0	965		
17	0900	44.0	179.1W	980		
18	1500	50.5	174.0W	980		
19	0900	53.0	170.5W	990		

（Ⅲ）台 5713 ELAINE　9月15日～19日

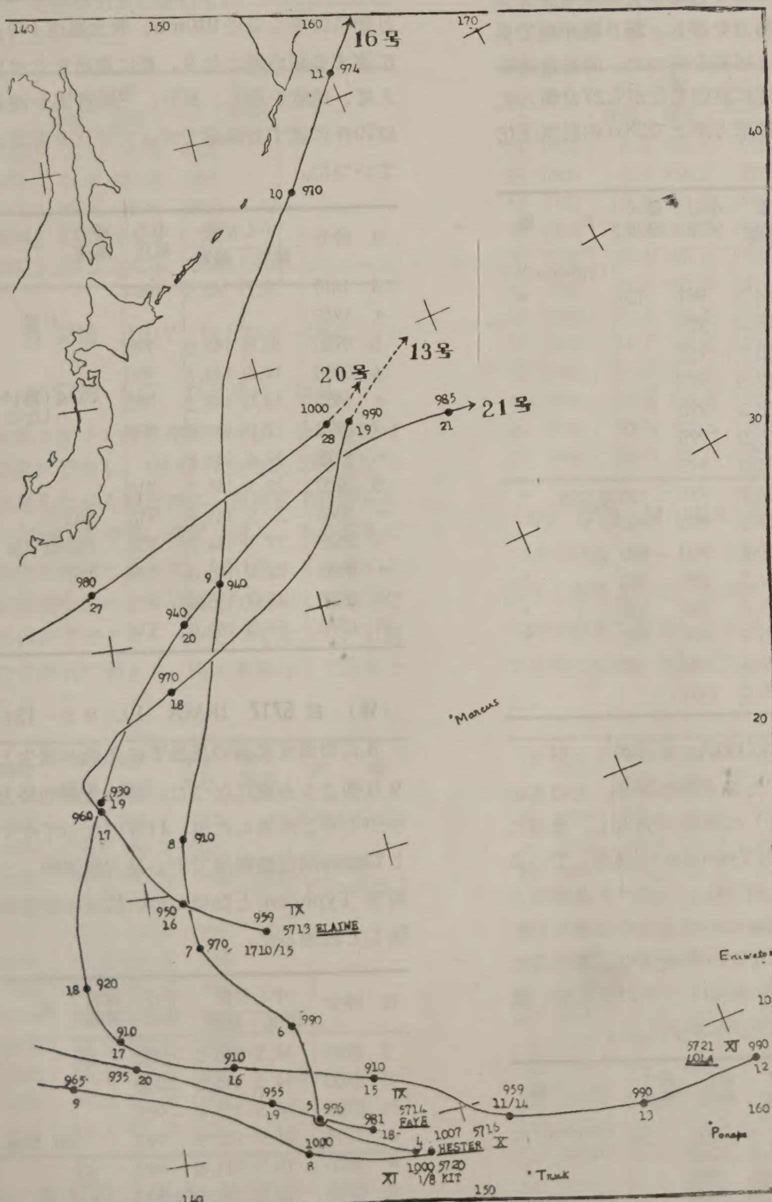
15日17時10分 18.1N　144.5E の地点で飛行機により発見、台風と確認されたが、15日15時より Typhoon Elaine と命名されることになつた。中心示度は 960mb を割り可成強いものであつたが、半経は比較的小さい小区域台風であつた。初め北西に早い速度で進行したが、17日昼頃本邦遙か南方洋上で北東に転向、その頃より急速に劣え、非常に早い速度で本邦東方洋上に去つた。



A図　1957年の台風経路（その二）（19号経路は省略）

日	時分	中心位置 緯度	中心位置 経度	中心気圧	最大風速	記事
15	1500					Typhoon となる
〃	1710	18.1	144.5	959	100	*
16	0900	19.7	141.4	950		
〃	1405	20.5	140.5	942	150	*
17	0900	23.7	138.6	960		
〃	1400	24.	138.			*

日	時分	中心位置 緯度	中心位置 経度	中心気圧	最大風速	記事
17	1500	24.9	138.0	960	100	*
〃	2145	25.4	138.7	958	100	*
18	0900	28.0	142.5	970	100	
〃	1500	30.0	146.0	980		
19	0300	33.7	151.7	980		
〃	0900	37.0	154.0	990		



B図　1957年の台風（5712）（5722）

(Ⅳ) 台 5714 FAYE 9月18日—27日

17日ガム島南東洋上に発生した熱低が18日03時より台風となり、08時02分の飛行機により中心示度981mb、最大風速120ノットが観測された。いわゆる豆台風で暴風半経の小さいものであつたが、中心示度は非常に深く一時935mbを示したが比島北東洋上で劣え、台湾南東海上で北東に転向、再び勢力を増し、26日朝沖縄で平均48米、瞬間61米と猛威を振つた。同島通過後は速度を増し、同時に衰弱しながら27日朝八丈島南海上を経て本邦東方洋上で28日朝低気圧化した。

日	時分	中心位置 緯度	中心位置 経度	中心気圧	最大風速	記事
18	0300					Typhoonとなる
〃	0802	10.0	146.7	981	120	*
19	0900	11.7	143.4	955		
20	0900	13.7	138.7	935		
21	0900	16.0	132.5	975		
22	0900	18.3	128.0	990		
23	0900	19.5	125.0	995		
24	0900	20.0	123.0	995		
〃	1500	20.5	122.9	997	100	眼12浬 *
25	0900	22.5	122.3	995	100	
26	0900	26.5	127.7	950	100	
〃	1630	28.3	130.7	955	100	*
〃	2210	29.6	133.7	960	100	*
27	0350	31.1	136.3	970	100	*
〃	0900	32.2	139.4	980	80	
28	0900	37.0	153.0	1000		

(Ⅴ) 台 5715 GLORIA 9月20日—24日

14号台風が発生した2日後の20日、その遙か西方（ルソン島海上）に熱低が発生し、急速に発達し、同日12時05分Typhoon に発達していることが確められた。同日夜ミンダナオ北部に上陸、翌21日朝南支那海に出てさらに発達したがゆつくり北西に進んで23日朝南支の広東付近に上陸して衰弱し北東に転向したが24日朝弱い熱低に夕刻には温滞低気圧に転化した。

日	時分	中心位置 緯度	中心位置 経度	中心気圧	最大風速	記事
20	1205	16.5	124.2	995	120	Typhoonとなる *
21	0900	19.0	119.0	990		
22	0900	21.7	115.0	980		
23	0900	24.0	112.0	1000		
24						衰弱北東に転向

(Ⅵ) 台 5716 HESTER 10月4日—9日

4日カロリン群島東部に発生し、同日19時30分より台風として扱われることにより、6日ガム島を通過、同日16時55分の飛行機観測によりTyphoon 級に達し、ヘスターと命名された。その頃より進路を北に変え、次第に発達して8日朝には中心気圧910mb、最大風速140ノットに達する猛台風となり、更に進路を北々東に変えて、速度を増し、9日、三陸沖遙か海上を時速70粁に達する高速でカムチヤツカ方面に去つていつた。

日	時分	中心位置 緯度	中心位置 経度	中心気圧	最大風速	記事
4	1610	9.7	146.4	1004		*
〃	1930					台風
5	0900	10.8	145.0	996		
6	0900	14.3	144.7	990		
〃	1655	16.0	143.2	990		Typhoonとなる *
7	0900	17.9	141.8	970		
〃	2125	19.4	141.8			*
8	0900	22.1	141.9	910		
〃	1045	22.3	141.9	910	140	*
9	0545	29.7	144.7	938	140	眼 7浬 *
〃	0945	32.3	145.6	940	110	*
10	0900	47.0	155.0	970		
11	0900	51.0	160.0	974		

(Ⅶ) 台 5717 IRMA 10月9日—13日

8日朝南支那海の比島寄に熱低が発生したが9日朝より台風になつた。初め比較的勢力弱くゆつくりと西進したが、11日になつてやや発達し12時の飛行機観測で中心最大風速65ノットを観測 Typhoon となつたが、12日印度支那に上陸して衰弱した。

日	時分	中心位置 緯度	中心位置 経度	中心気圧	最大風速	記事
9	0900	14.5	118.0	1000	50	
10	0900	14.5	116.5	1000		
11	0900	14.5	113.4	995		
〃	1213	14.9	112.5	990		眼 35浬 *
〃	1800	15.0	111.6	990	65	
12	0900	15.3	109.5	990		
13	0900	16.0	106.0	1004		

(Ⅷ) 台 5718 Tropical Storm

10月12日—15日

11日午後比島東方洋上に熱低が発生し、西又は西北に進み12日ルソン島南部に上陸したが、13日南支那海に出てやや発達し、15時台風18号となり、北西に向を変えて15日華南に上陸し消滅した。規模勢力共に弱いもので Typhoon 級には達しなかつた。

日	時分	中心位置 緯度	経度	中心気圧	最大風速	記事
12	0900	12.6	126.8	1004		
13	0900	14.3	121.8	1002		
〃	1500	15.3	119.9	1000	40	
14	0900	17.0	116.3	1000		
15	0900	20.0	114.0	1000		

(Ⅸ) 台 5719 JUDY 10月21日—28日

(Ⅹ) 台 5720 KIT 11月8日—14日

8日朝カロリン群島東部で台16、台17とほぼ同じ位置に発生し、06時22分台風20号となつた。発達しながら西北西に、低緯度では珍らしい40~50粁/時の早い速度で進み、その間9日朝 Typhoon 級に達した。12日朝ルソン島に上陸して衰弱を始めたが同島上で北東に転向して海上に出ジグザグコースをとつて北上し、石垣島付近で熱低に弱まり、南大東島付近で温低となつた。

日	時分	中心位置 緯度	経度	中心気圧	最大風速	記事
8	0622	9.6	145.0	1000	35	台風となる *
〃	0900	9.7	144.5	1000		
9	0640	13.1	136.9	965	100	{楕円眼 12~20浬 *
〃	0900	13.3	136.2	965		
〃	1059	13.3	135.9	955	120	*
10	0900	14.3	129.5	945		
11	0900	15.2	124.4	940		
12	0900	16.8	120.9	950		
13	0900	17.5	122.0	995		
〃	1430	18.8	122.9	995		Storm となる *
14	0830	19.5	123.3	999		*
〃	1500	19.7	123.3	1002		

(Ⅸ) 台 5721 LOLA 11月12日—21日

マーシヤル群島西部に発生した熱低に対して12日09時行われた飛行観測によつて最大風速90ノットが測られ、台風(Typhoon)であることが確認された。西北西に進行して急激に発達し、グワム島の南に達する頃(16日)中心気圧は900mbに下り強烈な台風となつた。17、18両日にわたつてゆつくり北東に転向し、次第に中心示度を高め父島付近(20日)より速度を増し急速に本邦東洋上に去つた。

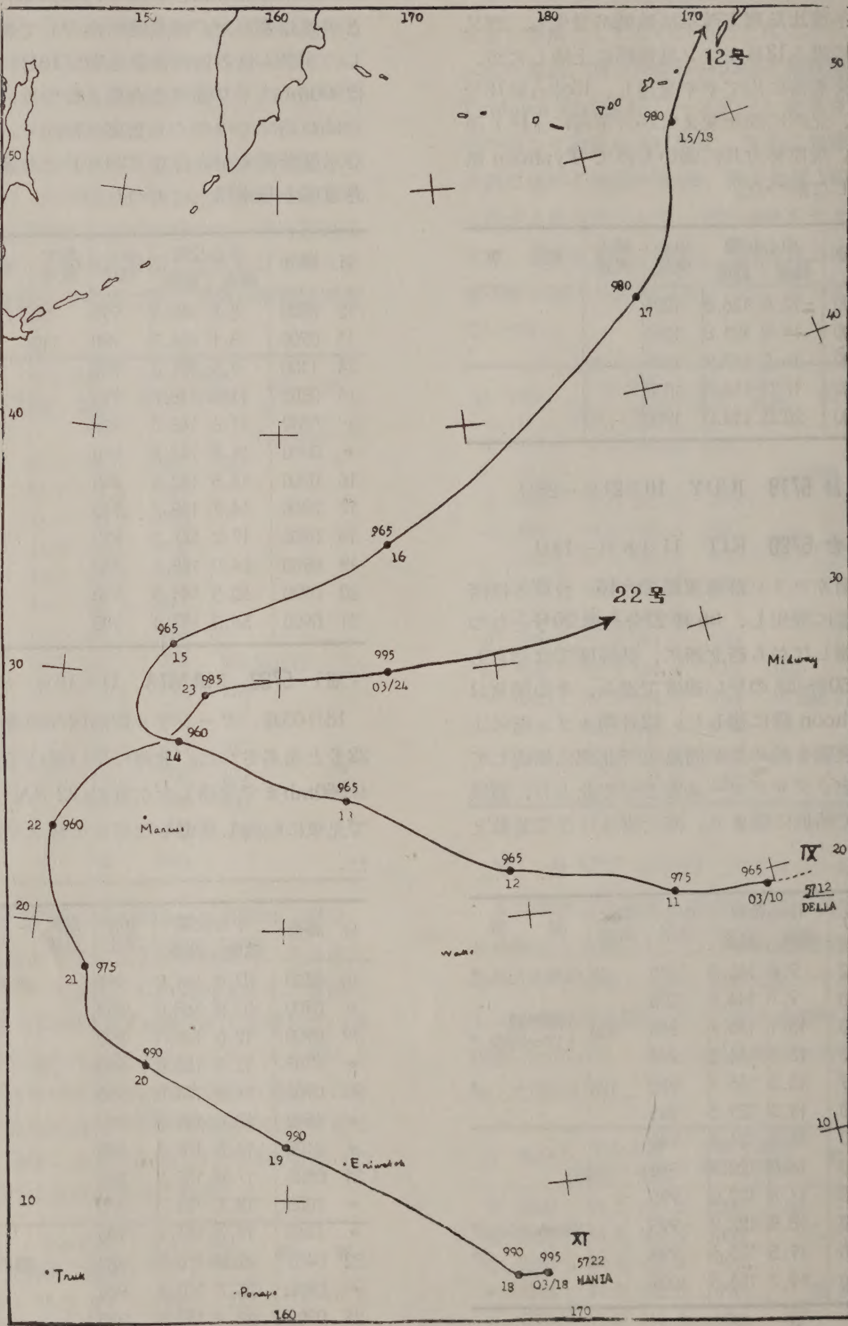
日	時分	中心位置 緯度	経度	中心気圧	最大風速	記事
12	0900	8.3	160.5	990	90	21号となる *
13	0900	8.1	156.2	980	110	
14	1100	9.3	151.6	959		
15	0305	11.3	148.7	913		*
〃	0540	11.6	148.0	908		*
〃	0900	11.8	147.3	910		
16	0900	13.3	142.3	910		
17	0900	14.7	138.2	910		
18	0900	17.0	137.2	920		
19	0900	24.0	138.6	930		
20	0900	30.5	143.5	940		
21	0900	36.0	159.0	985		

(Ⅻ) 5722 MAMIA 11月18日—24日

18日03時、マーシヤル群島西部の熱低を台風22号と命名された。北西に早い速度で進み、22日960mbまで発達したが其処(22.8N 150.3E)で北東に転向し衰弱しながら中部太平洋に去つた。

日	時分	中心位置 緯度	経度	中心気圧	最大風速	記事
18	0300	07.0	169.0	995		22号となる
〃	0900	07.0	168.0	990		
19	0900	12.0	160.0	990		
〃	1109	12.8	158.8	983	78	*
20	0900	14.8	154.8	990		
〃	1545	15.4	154.0	980		*
〃	2105	16.5	152.2	980		*
21	0500	17.8	152.2	980		*
〃	1000	18.7	151.7	975		*
〃	1545	19.7	151.1	960		
22	0455	22.8	150.3	962		眼円形30浬*
〃	0900	23.7	150.3	960		
23	0900	29.4	157.6	985		
24	0300	30.1	165.0	995		

(山本技官調査)


150
160
170
180
170
12号
30
50
980
15/18
980
17
40
40
965
16
30
22号
965
15
995
03/24
Midway
23
985
30
960
14
965
22
960
Marcus
965
12
975
11
965
03/10
IX
20
5712
DELLA
20
975
21
Wake
990
20
990
19
Eniwetok
10
10
XI
990
18
995
03/18
5722
Truk
Ponape
160
170

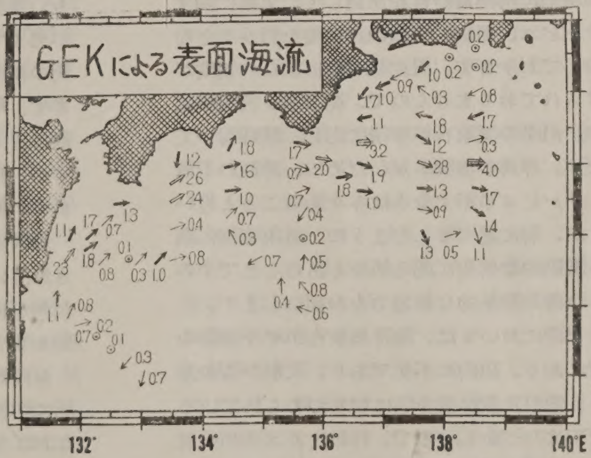
海洋速報第8号（概報）

神戸海洋気象台



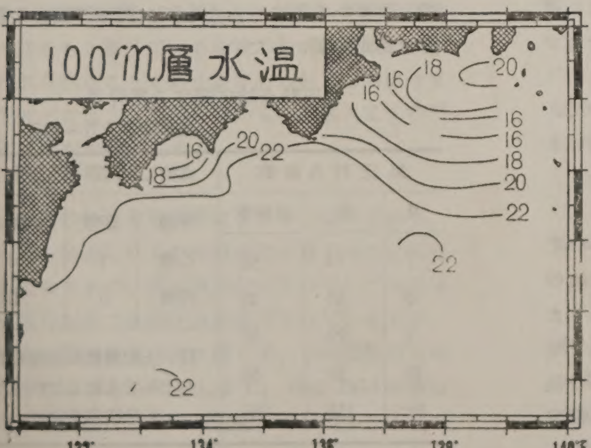
昭和32年11月15日より12月12日までの間、神戸海洋気象台所属春風丸によつて日本南海の海洋観測を実施したので海況の概略について報告する。

黒潮は九州の都井岬沖15浬附近から岸沿いに北上し、足摺埼、室戸埼に接岸して東に向つている。潮岬附近では流軸はごく岸近く距岸数浬以内にある模様である。



遠州灘沖の冷水域は非常に小さくなつている模様で137° 40′E線の水温断面図には 33° 40′N附近に弱い湧昇が認められる。

この北側には従来よりも広い範囲に暖水が拡がつている。



在港船舶（神戸港）に対する気象連絡について

神戸海洋気象台海上気象課

◆日々の天気図解析に当つて、広大な海洋上の気象資料は大部分船舶からの報告によつていることは今更申すまでもありませんが、それだけに、その資料の正確度と観測網の稠密度が気象業務の遂行のために重大な関係を持つてまいります。一方、此の気象業務は国際的な密接な関係を保つて運営されていますので、その視野に立つて考える必要があります。そのために世界気象機関なるものがあつて、世界の各国夫々協議した事業が運営されております。このことについては、本誌24号に述べられてありますので、省略しますが、此の取りきめの中に各国は主要港湾に港湾連絡官を派遣して、気象に関するサービス、連絡、測器の点検等を行うことを勧告しております。現在我が国にはこの制度が設けられておりませんので、従来通り各海洋気象台、沿岸の気象台が事情に応じ、随時行つています。専属の機関が無いために、連絡の不徹底、サービスの不十分さは多々あることと思いますが、前に述べましたように、気象業務に関する国際的な信用に関る部分もあることですので、今後共積極的な御協力をお願いします。

神戸港においては、海洋気象台がやや遠隔の場所にあり、出向に不便であり、又船からの連絡も、港泊日数が最少限に切りつめられている現状ではむづかしいので、昨年よりメリケン波止場の神戸市役所港務課の一部を借用して、週二回（火•金）に出張して此の種の業務を行つております。

以下に最近の同業務による資料に基づいて、状況や希望を述べて参考に供し度いと思います。

a）気象相談について

主として出港に際して、行先の航路についての気象海況の説明、引いては航路選定のための材料を提供出来ることが、吾々の理想でありますが、広域にわたる海上の長期予報、波浪予報の実施及びこれを現業化してサービス業務の軌道に乗せるという面で、すべて現在態勢が整つておりません。したがつて現状では、天気図にある現況の説明、短期の予報、統計的結果の利用に頼らねばなりませんが、此の問題に関しては少くも現状では両者資料情報を提供し合つて可能な範囲での最大限の効果を挙げることと、普段の調査を進めていくこととを計る必要があると思います。既に一二の会社では将来の経済運航のための資料とするための基礎調査を始めていると聞いています。

b）気圧計の比較点検とその他の測器について

気圧計の性能は平均的に見て漸次向上しつつあるようです。特に大型新造船は8インチ船用気圧計を使用し、又従来備付の気圧計についても、業務法に定めらているものに更新する気運が見えて来たので、近い将来日本船の報ずる気圧の精度が非常に良くなるものと期待しております。唯、観測の便宜上船用気圧計を壁に直接取付けることが行われているものが可成ありますが、防振装置が不十分で性能悪化が心配されます。既に二三故障が起つた例があります。

風向風速計（風車型）が大部分の船舶で使用されているが、その要部が磨耗して修理を要した例があるので、年数を経たものについては点検を要するようです。

温度観測については、段々業務法による規格品に切換えられているようですが、一面とかくなおざりにされ勝な傾向が見受けられますので、改善を希望するとともに、湿球寒暖計の設置を是非お願いしたい。

気圧計点検に関する集計表

昭和32年7月～10月

気圧計点検数		
月	隻	点検数
7	34	50
8	31	40
9	29	37
10	39	56
計	133	183

点検した国際指定船数		
甲種	32隻	50%
乙種	1	4
丙種	0	0

註：上記隻数には連絡のみで点検しなかつたものは含まない。

気圧計誤差（ブリッヂ設置の気圧計のみ）

負誤差平均	−1.70mm
正誤差平均	+0.93mm
誤差無し	7隻

同上1953年以降の検定品のみの場合

負誤差平均	−1.12mm
正誤差平均	+0.85mm
誤差無し	5隻

舶用気圧計誤差（8インチ）

負誤差平均	−0.51mm
正誤差平均	+0.73mm
誤差無し	5隻

此の集計表について総合しますと、舶用気圧計の誤差は1mm以内で、振動、動揺等の特殊事情を考慮に入れると精度は良好と見るべきで、又此の数が全点検数の31%を示していることを心強く感じます。それ以外の気圧計についても最近のものは精度が良くなつていることが認められ、これに比較点検による補正を加えることによつてより良い結果が期待されています。

比較点検の回数については、3ケ月に一回、乃至6ケ月に一回とされていますが、これは気圧計の性質に合せて定められてありまして、気圧計本来の性質と、振動等によつて誤差量が変化することのために、常に正常を保つにはこれ位の回数の点検が必要になります。それで頻繁に訪船を心掛けているわけですが、時にはウルサがられることもあります。しかしこれは今まで述べたような意義をもつものでありますので御協力をお願いします。

（付記）

測器の検定有効期間は5ケ年となつており、それを経過したものは再検定を要することになつております。現在気圧計だけについてみても可成な割合で無検定品が使用されていますが、現有測器の性能如何に関らず、一応規格のものにされることを希望します。特に1953年頃以前の気圧計は誤差の不安定なものが多いようです。

c）観測についての質疑

（i）雲について

雲に関する質問を多く受けます。確かに雲の観測は種類判定の基準が適用し難い場合や、空の状態決定に困難を感ずる場合が多くありますが、経験と熟練を要することで、写真や講習会を利用されることを希望します。雲の観測を全くやめるか、簡易型式を用いるように出来ないかと尋ねられることがありますが、これは国際型式にのつているもので、日本だけ例外的にというわけにもいきません。

（ii）波について

気象業務法によれば、観測の成果を報告する場合、O Ts Ts Td Td 群、1 dw dw Pw Hw群及び「コオリ」群を省略することが出来るようになつています。しかしWMO技術規則による甲種国際指定船は完全型式を使用することになつております。現状は上記二群を報告される船舶は極く少数です。

米国では波浪予報のために波の観測を強く要望しているようですが、日本においても将来はそういつた事態になると思います。少くも、予警報業務に当つて、波浪の現状を知ることは大切なことですので出来るだけ波の観測通報を心掛けて頂き度いと思います。この観測が敬遠される原因は色々あるのでせうが、一つは、波高と週期で表現する点にあるのではないかと感じています。事実そういう話も聞いております。

観測法によりますと、波高は波浪*の中で最大のものをいくつか選び、その平均の高さを報じ、週期はそれらの平均時間を報ずるようになつていますが、状況によつて波浪が様々な様想を呈するのと、目視によるため、ある程度の馴れが必要になるという点でやりにくさがあるのだろうと思いますが、普段少しその積りで心掛けて頂けば何とか解決するのではないかと考えております。

*33年1月1日より風、浪とウネリとに区別して報ずることになりました。

d）船舶気象観測について

観測の成果は船舶気象報により直ちに通報するほかに、船舶気象観測表に記入して入港の際提出して頂くことになつていますが、今尚此の

表の提出の要不要について疑問を持つていられるように見受けます。此の表の意義は調査統計に使用し、又電報には組み得ない要素や記事を報告して頂くことにあるので、現在神戸だけで月々50～60通受付けておりますが、更に多くなることを期待しています。港で訪問する気象台員にお渡し下されば結構です。

以上色々と申し述べましたが、港での気象連絡業務は今後追々改善され強化されるものと思いますが、此の業務は、監督業務ではなくて、むしろサービス業務でありますので、御意見、御希望等をお寄せ願い、海上気象観測の成果を挙げるべく、又吾国の港におけるこの種の業務を助長するべく御協力願い度いと思います。

各船舶からの海上気象報告（1957年9月）

9月中に各船舶より神戸海洋気象台に寄せられた船舶気象報告は北太平洋航路20通、南方航路41通、世界一周航路2通の計63通であつた。北太平洋航路で観測された最低気圧は乾昇丸の980.0mb（12日）最大風速は高宗丸のNW・48knot（14日）南方航路では最低気圧を富士川丸が、979.0mb（4日）最大風速も同船がSW・50knot（4日）と夫々観測している。

第1表に9月中に観測された暴風報告表を第2表に神戸海洋気象台に送られて来た各船舶からの海上気象報告表を示すと共に貴重な観測資料を提出戴いた各船舶に深く感謝の意を表します。

第1表　　暴風観測表（1957年9月）（時刻はG.M.T.）

船名	暴風		最強風				最低気圧		暴風	
	初日	風向	風向風速	日時	位置 緯度	位置 経度	気圧	日時	終日	風向
那智春丸	1	WNW	WNW38	1. 00	46.9N	168.3W	989.5	8月31日 18Z	1	WNW
富士川丸	4	WNW	SW 50	4. 04	26.7N	132.2E	979.0	4. 03	4	S
比叡春丸	4	WNW	WNW34	4. 12	45.0N	153.7W	994.5	4. 00	5	NW
〃 〃	7	SW	WSW38	7. 06	45.0N	172.5W	993.5	7. 06	7	W
万寿山丸	7	NW	NW 38	7. 12	40.3N	179.4E	1008.0	7. 00	7	NW
高花丸	8	NNW	NNW37	8. 00	39.9N	128.9W	1017.2	8. 00	9	NNW
比叡春丸	9	NW	NW 40	10. 00	40.9N	170.9E	1006.0	9. 12	10	N
明啓丸	11	SW	SW 34	11. 12	48.4N	161.3W	992.0	11. 03	11	WSW
高宗丸	11	NW	WNW45	12. 00	48.3N	174.7W	983.0	11. 06	12	NW
〃 〃	13	SE	NW 48	14. 09	46.5N	166.0E	1000.5	14. 03	14	NW
乾洋丸	13	SSE	WNW35	14. 12	47.7N	166.7E	996.0	14. 06	14	WNW
乾昇丸	14	S	S 38	14. 12	50.6N	177.8E	992.0	14. 18	14	SE
あらすか丸	16	SSW	SSW45	16. 03	34.6N	168.5E	999.2	16. 03	16	W
高花丸	16	SW	SW 40	16. 06	42.2N	175.8W	982.4	16. 00	17	WSW
乾洋丸	17	WNW	WNW34	17. 21	39.4N	144.7E	993.5	17. 18	18	W
高来丸	26	ESE	ESE39	26. 06	48.3N	175.5W	989.5	27. 12	26	SE

各船舶からの海上気象報告　（1957年9月）

第 2 表　　Reports of Ships' Weather Observations.　(Sept.., 1957)　　時刻G.M.T.

船名	会社名	船長	担当者	航路 自～至	航海期間 1957年9月	最低気圧	その時の風向	その時の風速	観測日時	観測位置 緯度	観測位置 経度	最大風速 風向	最大風速 風速	その時の気圧	観測日時	観測位置 緯度	観測位置 経度
相模丸	日本郵船	三鍋 祐三	北条、山口 谷口、福田	世界一周	4～21	1003.5	N	25	5. 06	27.0N	122.9E	NE	28	1006.0	4. 09	32.2N	127.8E
箱根山丸	三井船舶	上垣内 正	航海士	世界一周	21～28	1011.0	SW	14	21. 18	24.7N	61.4W	SSE	23	1024.0	27. 00	45.1N	26.8W
方存山丸	三井船舶	SHIRAISHI	航海士	羅府～神戸	1～12	1001.5	WSW	22	4. 00	40.8N	154.7W	NW	38	1014.0	7. 12	40.3N	179.4E
那智春丸	新日本汽船	松村 政時	航海士	北米～日本	1～9	994.0	WNW	38	1. 00	46.9N	168.3W			同左			
比叡春丸	〃	浜中 政雄	〃	羅府～横浜	1～14	993.5	WSW	38	7. 06	45.0N	172.5W	NW	40	1014.0	10. 03	41.0N	170.5E
照川丸	川崎汽船	原田 喬	〃	バルボア～新潟	1～5	1000.0	SSW	20	2. 06	48.0N	170.5E	NNW	24	1011.2	1. 06	48.3N	179.0E
明啓丸	明治海運	川村 原吉	〃	シヤトル～名古屋	7～20	992.0	SSW	28	11. 03	48.4N	158.6W	WSW	34	1000.0	11. 15	48.4N	162.1W
諏訪春丸	新日本汽船	木場 武夫	〃	ロングビユー～名古屋	7～19	983.5	SE	12	11. 18	51.4N	169.0W	NW	32	1008.0	14. 21	48.3N	167.5E
高花丸	大同海運	花田 広務	岡崎 房夫	アラメダ～横浜	8～24	982.5	SSE	29	16. 00	42.8N	176.0W	SW	40	983.5	16. 06	42.2N	175.8W
乾洋丸	乾汽船	新藤 光造	航海士	バンクーバー～横浜	10～17	990.0	ENE	29	11. 06	51.6N	169.9W	WNW	35	1005.5	14. 12	47.7N	166.7E
乾山丸	乾汽船	尾崎 重	〃	横浜～桑港	10～16	994.5	E	22	16. 00	47.9N	162.6W	NE	30	1015.0	10. 21	40.9N	152.4E
高宗丸	大同海運	門広 悟	〃	羅府～釜石	10～16	983.0	S	11	11. 06	48.0N	169.4W	NW	48	1008.0	14. 09	46.5N	166.0E
玉邦丸	武庫汽船	林田 新吉	長尾 徹	大阪～ロングビーチ	12～25	987.2	NNW	29	17. 18	46.1N	177.8E	NW	33	988.2	17. 12	45.9N	176.1E
乾昇丸	乾汽船	帯田 久男	武田 孝実	バンクーバー横浜	12～20	980.0	S	12	12. 06	52.6N	163.1W	S	38	1004.0	14. 12	50.6N	177.8E
あらすか丸	沢山汽船	井本 信輔	航海士	羅府～横浜	14～21	992.2	SSW	45	16. 03	34.6N	168.5E			同左			
神戸丸	日本海汽船	大西 正作	〃	ホートランド～大阪	15～28	1004.3	E	10	20. 18	51.5N	169.3W	SE	33	1007.4	26. 15	42.3N	150.3E
高米丸	大同海運	今井 一二郎	〃	横浜～桑港	21～30	989.5	SW	30	27. 12	48.2N	165.4W	ESE	39	1008.0	26. 06	48.3N	175.5W
山姫丸	山下汽船	中村 源吉	川村、河田、久原	室蘭～バンク～バー	25～30	1015.0	N	07	29. 03	48.8N	179.2W	NNW	18	1019.0	28. 18	48.9N	177.5E
はばな丸	大阪商船	安藤 純一	村上貞太良	ニユーヨーク～横浜	22～30	997.5	WSW	22	27. 00	39.6N	132.1W	S	38	1009.0	29. 12	42.4N	152.7W
まどらす丸	大阪商船	畠山 甲二	吉船 浩一	ニユーカレドニヤ～日本	5～15	1007.1	W	15	10. 06	05.2N	148.7E	SSW	27	1011.3	8. 00	06.3S	153.9E
駿河丸	日本冷蔵	福岡 豊	航海士	オークランド～東京	6～26	1005.1	NW	10	6. 00	33.5S	174.1E	SSW	27	1009.5	25. 18	32.4N	140.6E
乾隆丸	乾汽船	上神 久実	航海士	比島～日本	1～7	998.0	NW	16	1. 18	26.0N	131.1E	N	22	998.0	2. 06	27.5N	130.9E
富士川丸	川崎汽船	下郷 久次	藤田 善範	メナ～横浜	1～5	979.0	WSW	45	4. 03	26.7N	132.1E	BW	50	980.5	4. 04	26.7N	132.2E
辰春丸	新日本汽船	英 将二	中矢、長谷 浜口、杉本	香港～シンガポール	1～3	1006.0	SW	16	1. 09	08.3N	109.2E			同左			
関西丸	関西汽船	中村 三喜雄	鉄屋 史郎	比島～門司	2～3	1004.5	NW	17	2. 18	30.9N	126.5F	N	18	1006.4	2. 06	29.0N	124.9E
ぼんべい丸	大阪商船	村田 豊	前谷 宗雄	日本～印度	3～10	1005.0	NE	10	5. 12	23.5N	118.2E	NE	30	1007.2	3. 06	30.8N	126.1E
新興丸	関西汽船	益山 肇	岸 繁雄	高雄～八幡	3～6	997.4	WSW	18	6. 07	27.9N	130.1E	NNE	22	1004.0	3. 21	23.3N	123.5E
あふりか丸	大阪商船	K.ITO.	航海士	シンガポール～清水	4～11	1007.2	NNE	15	9. 21	27.3N	125.5E	NE	25	1008.0	10. 09	29.0N	126.7E
ぶえのすあいれす丸	大阪商船	石橋 六郎	西山 勇	神戸～基隆	3～4	1006.0	N	20	3. 18	30.7N	126.4E			同左			

船名	会社名	船長	担当者	航路 自～至	航海期間 1957年9月	最低気圧	その時の風向	その時の風速	観測日時	観測位置 緯度	観測位置 経度	最大風速 風向	最大風速 風速	その時の気圧	観測日時	観測位置 緯度	観測位置 経度
東明丸	東和汽船	[illegible]田	音市 田中 高次	サンダカン～大阪	7～11	1003.0	SSE	20	9. 00	20.8N	128.0E			同	左		
[illegible]丸	大阪商船	石橋	六郎 山田 勇	基隆～ペナン	7～10	1007.1	NE	04	8. 09	13.7N	112.0E	W	14	1010.0	9. 12	07.4N	103.4E
[illegible]丸	乾汽船	木谷	実 立石 [illegible]彦	ララツプ～八幡	8～13	998.5	W	36	9. 06	20.5N	125.7E			同	左		
[illegible]春丸	新日本汽船	英	将 中矢、長谷川、杉本	ペナン～コロンボ	9～13	1007.0	W	17	10. 09	05.0N	93.5E	WSW	18	1003.5	11. 21	05.9N	86.9E
[illegible]丸	甲南汽船	西井	直四郎 大原 正樹	長崎～セブ	9～14	996.0	SSE	30	11. 06	20.8N	124.0E			同	左		
[illegible]田丸	川崎汽船	児島	末治郎 航海士	新府～名古屋	9～15	1013.0	WSW	09	14. 18	33.0N	146.5E	N	17	1016.0	15. 00	33.0N	144.5E
乾[illegible]丸	乾汽船	[illegible]	[illegible]雄 ″	門司～香港	10～18	1009.3	NE	17	10. 21	30.7N	125.8E	NNE	18	1011.0	11. 03	30.5N	125.4E
乾坤丸	″	井上	猶義 [illegible]部 秀一	広畑～ララツプ	10～15	1007.0	S	18	10. 09	27.3N	132.4E	ESE	22	1011.0	13. 21	21.0N	129.0E
[illegible]丸	川崎汽船	下郷	久次 藤田 高範	横浜～メナ	11～16	1002.8	ESE	20	13. 18	22.4N	124.8E	SSE	30	1003.8	14. 00	21.4N	124.1E
[illegible]丸	甲南汽船	[illegible]	[illegible]原	ビスリーク～東京	11～15	不明						SSW	14		11. 09	14.0N	128.5E
[illegible]丸	大阪商船	遠山	伍治 航海士	比島～日本	11～12	1003.0	SSE	09	11. 18	29.9N	134.0E	S	16	1003.2	11. 09	27.6N	133.0E
乾[illegible]丸	乾汽船	上神	久夫 ″	日本～比島	12～17	1006.0	W	18	17. 06	10.8N	128.2E			同	左		
[illegible]島丸	三菱海運	高瀬	重作 [illegible]	シンガポール～大連	13～19	1008.0	WSW	20	13. 06	10.5N	111.7E	WSW	24	1010.0	13. 00	09.7N	110.8E
[illegible]い丸	大阪商船	石田	[illegible] 航海士	神戸～コーランシヤ	14～19	1008.6	WSW	13	17. 12	05.7N	83.9E	SW	16	1011.0	18. 06	05.9N	87.2E
乾[illegible]丸	乾汽船	杉野	[illegible]丸 ″	ブツアン～名古屋	14～18	1009.0	NW	04	18. 06	27.2N	133.1E	N	15	1011.0	18. 09	27.7N	133.3E
[illegible]宝丸	内外汽船	益田	時彦 ″	シンガポール～川崎	15～20	1007.3	E	10	17. 09	15.6N	116.3E	W	20	1009.5	15. 21	10.4N	111.4E
[illegible]昭丸	川崎汽船	中島	宏 ″	津久見～シンガポール	17～22	1005.7	WSW	20	22. 12	07.0N	110.3E			同	左		
東明丸	東和汽船	[illegible]田	音市 田中 高次	名古屋～サンダカン	18～21	1007.0	E	17	19. 18	19.5N	127.0E	SE	19	1012.0	21. 00	18.0N	126.2E
[illegible]神丸	川崎汽船	[illegible]藤	正義 [illegible]	シンガポール～門司	20～29	1004.5	SSW	07	22. 21	12.8N	114.0E	NE	22	1003.9	26. 12	21.6N	122.1E
[illegible]春丸	新日本汽船	黒瀬	将治 立石 広治	大阪～ダバオ	20～24	1003.5	W	04	24. 06	11.4N	128.5E	SE	15	1010.5	22. 06	21.9N	133.0E
[illegible]剛丸	関西汽船	畠山	肇 [illegible]雄	八幡～基隆	21～22	1007.7	SE	06	22. 09	27.6N	123.3E	NE	10	1014.7	21. 05	30.9N	126.5E
乾坤丸	乾汽船	井上	猶義 [illegible]部 秀一	ララツプ～門司	22～28	1006.5	S	24	25. 21	24.0N	129.0E			同	左		
[illegible]正丸	正福汽船	山田	徹雄 航海士	日本～バンコツク	23～28	1004.0	NNE	16	24. 09	22.2N	121.5E	NE	18	1005.5	25. 09	21.9N	117.0E
関西丸	関西汽船	中村	[illegible]雄 [illegible] 史郎	比島～大阪	23～28	1007.6	S	11	25. 21	22.2N	131.2E	WNW	20	1007.6	26. 15	24.8N	130.4E
[illegible]い丸	大阪商船	石田	[illegible] 航海士	コーランシヤ～シンガポール	24～10月1	1006.3	SW	11	27. 09	14.2N	114.8E	NE	26	1015.5	30. 15	24.8N	123.6E
[illegible]ぶらた丸	″	久保	忠[illegible] 望月 成毅	日本～比島	24～27	1007.5	SSW	06	26. 06	15.1N	129.6E	E	21	1011.0	24. 00	29.6N	133.3E
[illegible]丸	三光汽船	北川	[illegible] 航海士	ペナン～モンバサ	24～26	1001.5	SW	10	26. 00	34.5S	23.6W	ESE	18	1017.0	24. 18	34.0S	26.1E
[illegible]丸	乾汽船	馬越	英俊 ″	シーガポール～鹿の川	25～10月2	1006.5	WNW	10	27. 06	11.7N	113.0E	N	20	1013.5	30. 12	24.3N	123.2E
乾[illegible]丸	″	杉野	[illegible]丸 ″	東京～ダバオ	26～29	1008.0	SSW	18	26. 18	27.9N	136.5E			同	左		
[illegible]丸	甲南汽船	西井	直四郎 大原 正樹	比島～仁川	28～10月1	1012.0	NE	04	28. 18	15.1N	124.5E	N	18	1016.5	30. 09	28.2N	125.2E
[illegible]丸	乾汽船	[illegible]田	久男 武田 孝実	横浜～ニューオーリンズ	28～30	1018.0	N	02	30. 06	41.3N	158.3E	N	14	1018.5	28. 15	37.8N	147.1E
ひまらや丸	関西汽船	藤谷	[illegible]治 吉田 信次	門司～基隆	28～29	1010.5	WSW	10	29. 00	28.9N	124.8E	NNE	16	1011.3	28. 21	29.4N	125.2E
乾[illegible]丸	乾汽船	[illegible]	[illegible]雄 航海士	黄埔～コロンボ	28～30	1010.0	SE	10	29. 09	19.1N	112.1E	E	12	1012.0	28. 15	21.4N	113.5E
乾隆丸	″	上神	久夫 ″	日本～比島	29～30	1010.0	ENE	10	30. 06	16.7N	128.5E			同	左		
しどにい丸	大阪商船	石田	[illegible] ″	神戸～コーラーンシヤ	7月 6～ 7月 9	1005.4	S	01	9. 00	12.2N	111.1E	E	09	1010.0	6. 06	20.3N	120.8E
あふりか丸	″	K.ITO	″	神戸～シンガポール	8月18～ 8月25	1000.3	SE	26	20. 00	26.5N	133.7E	SE	38	1004.4	19. 09	29.1N	135.9E

各船舶からの海上気象報告 (1957年10月)

10月中に各船舶より神戸海洋気象台に寄せられた船舶気象報告は北太平洋航路15通、南方航路34通の計49通であつた。北太平洋航路で観測された最低気圧は那智春丸の971.0mb (31日) 最大風速は、ありぞな丸のNW • 50knot (24日) 南方航路では最低気圧を富士川丸が1002.3mb (13日) 最大風速も同船がNW • 35knot (17日) と夫々観測している。

第1表に10月中に観測された暴風観測表を第2表に神戸海洋気象台に送られて来た各船舶からの海上気象観測報告表を示すと共に貴重な観測資料を提出戴いた各船舶に深く感謝の意を表します。

第1表　暴風観測表　(1957年10月) (時刻はG.M.T.)

船名	暴風		最強風				最低気圧		暴風	
	初日	風向	風向風速	日時	位置 緯度	位置 経度	気圧	日時	終日	風向
はばな丸	1	ESE	ESE34	1. 03	43.5N	167.8W	1001.5	1. 15	1	E
はばな丸	6	S	S 35	6. 15	35.4N	141.7E	1004.0	6. 15		
協明丸	6	E	E 46	5. 18	32.0N	172.5E	1002.0	9. 00	7	E
協明丸	8	NE	NNE43	8. 06	29.7N	177.5W	1002.0	9. 00	8	N
美邦丸	8	NNE	NNE34	8. 18	34.7N	174.0W	1007.5	9. 00	9	NNE
比叡春丸	9	NNW	NNW48	9. 12	39.9N	146.7E	980.5	9. 12	10	W
神戸丸	9	NW	NW 37	9. 12	39.9N	146.4E	986.3	9. 12	9	WNW
はなま丸	9	SSE	S 49	9. 21	41.7N	157.6E	991.7	9. 18	10	WSW
乾洋丸	15	WSW	WSW34	15. 18	49.0N	172.5W	979.5	16. 12	16	SW
富士川丸	17	NW	NW 35	17. 06	31.5N	134.1E	1004.8	17. 06		
ありぞな丸	20	NNW	NW 35	21. 00	41.8N	158.5W	997.0	20. 18	21	N
ありぞな丸	24	NW	NW 50	24. 05	41.2N	177.6E	1001.6	23. 18	24	NNW
ありぞな丸	25	NNW	NNW38	25. 18	37.0N	170.2E	1006.5	25. 12	26	N
ありぞな丸	27	SE	SE 38	27. 15	32.0N	158.9E	1007.2	27. 18	27	SSW

各船舶からの海上気象報告　（1957年10月）

第 2 表　　Reports of Ships' Weather Observations.　(Oct, 1957)　時刻G.M.T.

船名	会社名	船長	担当者	航路 自	航路 至	航海期間 1957年10月	最低 気圧	その時の 風向	その時の 風速	観測 日時	観測位置 緯度	観測位置 経度	最大風速 風向	最大風速 風速	その時の気圧	観測 日時	観測位置 緯度	観測位置 経度
[illegible]丸	[illegible]	林田	[illegible]	ロングビーチ	横浜	1～16	1006.8	WNW	10	5. 06	34.9N	154.3W	NNE	34	1003.3	8. 18	34.7N	174.0W
[illegible]丸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	ニューヨーク	横浜	1～6	1001.5	E	19	1. 15	43.8N	172.7W	S	35	1004.0	6. 15	35.4N	141.7E
[illegible]丸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	横浜	ニューオーリンズ	1～5	1003.5	NW	20	4. 00	43.2N	175.1W	同左					
[illegible]丸	[illegible]	中村	源吉	室蘭	バンクーバー	1～4	1010.2	N	10	4. 09	49.3N	129.7W	NNW	20	1015.0	4. 00	49.7N	133.1W
協明丸	協[illegible]	[illegible]	[illegible]航海士	中南米ガルソ		3～21	1001.0	SE	15	20. 12	17.4N	103.3W	E	46	1016.0	6. 18	32.0N	172.5E
[illegible]丸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	羅府	横浜	4～17	1003.0	SSW	09	7. 00	35.0N	144.7W	WSW	24	1014.5	14. 03	35.1N	165.9E
[illegible]丸	[illegible]	[illegible]	[illegible]航海士	横浜	羅府	7～20	980.5	NNW	48	9. 12	39.9N	146.7E	同左					
[illegible]丸	[illegible]	[illegible]	[illegible]航海士	横浜	ホートアルバーニ	8～20	978.6	SSW	19	16. 18	50.2N	162.9W	NW	37	986.3	9. 12	39.9N	146.4E
[illegible]丸	[illegible]	[illegible]	[illegible]航海士	横浜	桑港	8～13	991.7	S	46	9. 18	41.9N	156.7E	S	49	993.8	9. 21	41.7N	157.6E
[illegible]丸	[illegible]	[illegible]	[illegible]航海士	宇部	北米	10～20	979.5	S	27	16. 18	49.5N	165.8W	WSW	34	985.0	15. 18	49.0N	172.5W
[illegible]丸	[illegible]	山崎	[illegible]航海士	羅府	横浜	16～29	997.0	NNW	34	20. 18	41.8N	156.5W	NW	50	1005.0	24. 05	41.2N	177.6E
山姫丸	山下汽船	中村	源吉	ロングビユー	横浜	17～29	1002.0	W	20	21. 18	52.2N	161.5W	W	22	1012.0	23. 03	51.5N	173.5W
[illegible]丸	[illegible]	黒[illegible]	[illegible]航海士	日本	北米	24～31	971.0	S	30	31. 06	48.9N	173.0W	同左					
[illegible]丸	[illegible]	[illegible]	[illegible]航海士	羅府	横浜	24～28	1006.4	W	26	27. 15	31.5N	154.9E	ESE	29	1011.0	27. 05	31.5N	157.6E
[illegible]丸	[illegible]	[illegible]	[illegible]航海士	ホートランド	横浜	26～31	1018.5	WSW	20	31. 21	34.8N	161.5W	同左					
[illegible]丸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	内航欧洲		20～31	1003.0	WSW	20	21. 00	03.6N	70.6E	E	22	1012.1	24. 05	05.7N	83.3E
[illegible]丸	[illegible]	[illegible]	[illegible]航海士	黄[illegible]	コロンボ	1～4	1010.0	SE	10	1. 06	12.5N	110.0E	WNW	11	1013.0	3. 21	04.1N	106.2E
[illegible]丸	[illegible]	[illegible]	[illegible]航海士	比島	日本	1～3	1010.5	ENE	10	1. 06	21.4N	130.5E	NE	17	1015.0	2. 03	25.2N	132.7E
[illegible]丸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	相生	ダバオ	2～6	1007.0	NNW	11	6. 06	13.6N	128.7E	NNW	12	1010.0	6. 03	13.8N	128.7E
東[illegible]丸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	サンダカン	大阪	2～6	1006.5	W	18	6. 06	30.4N	130.0E	同左					
[illegible]丸	[illegible]	[illegible]	[illegible]航海士	シンガホール	ボンベー	2～5	1007.4	SW	14	4. 12	05.6N	87.4E	SW	22	1011.0	2. 12	05.0N	95.1E
[illegible]丸	[illegible]	黒[illegible]	[illegible]	ビスリツ	名古屋	3～7	1007.5	WSW	16	7. 12	31.2N	135.0E	同左					
[illegible]丸	[illegible]	[illegible]	[illegible]航海士	カラチ	門司	4～27	1007.0	N	03	6. 00	15.1N	72.5E	NNE	26	1013.0	20. 15	18.2N	120.1E
[illegible]丸	[illegible]	市川	[illegible]航海士	シンガポール	釜山	4～13	1004.6	ESE	25	8. 06	16.5N	118.7E	ENE	31	1015.2	10. 12	22.0N	116.1E
[illegible]丸	[illegible]	久保	[illegible]	比島	日本	7～10	1006.0	SSE	12	8. 06	18.0N	126.0E	ENE	30	1007.0	8. 12	19.7N	125.9E
[illegible]丸	[illegible]	[illegible]	[illegible]航海士	[illegible]川	シンガホール	8～15	1006.5	SSW	03	13. 06	09.3N	111.3E	ENE	23	1010.5	10. 03	19.1N	120.6E
[illegible]丸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	八幡	シンガホール	8～13	1006.0	SW	15	13. 06	11.0N	110.7E	ENE	27	1011.0	11. 00	19.1N	115.0E
[illegible]丸	関西汽船	[illegible]	[illegible]	ララバン	清水	9～15	1009.3	NE	10	10. 21	16.7N	129.1E	NE	19	1010.0	11. 00	17.1N	129.3E
[illegible]丸	山下汽船	[illegible]	[illegible]航海士	門司	サンフエルナンド	9～11	1014.0	ENE	16	11. 09	21.0N	122.6E	E	20	1016.3	11. 03	22.3N	123.7E
[illegible]丸	日東商船	市川	徹郎 東 剛氏	日本	ニュージーランド	10～16	1003.0	SE	09	13. 06	15.8N	148.1E	E	22	1010.5	12. 05	19.5N	146.7E

船名	会社名	船長	担当者	航路 自～至	航海期間 1957年10月	最低気圧	その時の風向	その時の風速	観測日時	観測位置 緯度	観測位置 経度	最大風速 風向	最大風速 風速	その時の気圧	観測日時	観測位置 緯度	観測位置 経度
[illegible]川丸	五洋汽船	尾形 慶治	航海士	mati～八幡	10～15	1005.0	E	20	11.18	13.7N	128.2E	ESE	21	1007.0	12.00	13.9N	128.7E
東明丸	東和汽船	前田 音市	宮前 修	日本～サンダカン	11～15	1014.0	E	06	14.05	18.0N	126.7E	ENE	07	1016.0	13.06	22.1N	129.0E
乾隆丸	乾汽船	上神 久美	航海士	大阪～比島	11～14	1010.0	NNE	10	14.06	14.7N	127.6E			同左			
第11東西丸	東西汽船	大立目 博	上原 伸一	ブリスベン～四日市	13～19	1003.5	WSW	08	14.06	05.4N	149.9E	N	22	1014.5	18.15	28.5N	140.0E
富士川丸	川崎汽船	下郷 久次	藤田 善範	メナ～横浜	13～17	1002.3	NNE	23	13.12	17.1N	117.5E	NW	35	1004.8	17.06	31.5N	134.1E
辰春丸	新日本汽船	英 将三	中矢、長谷	コロンボ～ペナン	15～19	1009.0	SW	10	16.12	05.9N	83.6E			同左			
雄光丸	甲南汽船	西井直四郎	岡本 良一	三池～セブ	15～17	1012.0	E	07	17.06	16.3N	125.5E			同左			
栄正丸	正福汽船	浜田 敏雄	航海士	バンコツク～日本	16～20	1011.0	ESE	06	17.06	15.3N	114.9E	ENE	26	1013.0	18.06	18.3N	117.9E
山春丸	山下汽船	伊東征五露	航海士	バンコツク～日本	16～18	1012.0	S	04	16.21	20.6N	122.5E	NE	28	1014.0	17.09	22.9N	124.9E
関西丸	関西汽船	関屋 文男	鉄屋 史郎	門司～台湾	17～23	1011.7	NE	17	23.18	19.2N	120.4E	NNW	27	1018.3	17.06	32.0N	127.7E
乾栄丸	乾汽船	杉野 峯丸	航海士	ブツアン～名古屋	19～23	1010.0	NE	10	19.06	15.5N	128.0E	NNE	20	1014.5	20.00	17.6N	128.8E
乾国丸	乾汽船	木谷 栄	光石 一彦	比島～佐伯	20～26	1008.0	N	17	24.06	19.7N	127.7E	NNE	22	1010.5	24.03	20.2N	127.6E
富士川丸	川崎汽船	下郷 久次	藤田 善範	横浜～メナ	24～30	1007.0	NNE	23	24.18	29.0N	130.9E	N	24	1009.0	25.00	27.7N	129.5E
辰宮丸	内外汽船	益田 時房	航海士	因島～タクロバン	25～28	1007.5	E	03	28.06	15.1N	127.0E	N	25	1010.0	26.21	21.8N	128.6E
雄光丸	甲南汽船	西井直四郎	岡本 良一	三池～セブ	27～31	1011.0	NE	03	27.06	13.0N	127.7E	SE	10	1014.0	28.09	17.0N	129.3E
東明丸	東和汽船	前田 音市	宮前 修	サンダカン～日本	27～31	1012.5	NE	14	27.06	16.2N	125.9E	NNW	15	1020.5	30.06	27.6N	132.1E
乾隆丸	乾汽船	上神 久美	航海士	比島～宮古	29～31	1010.0	SSE	05	31.06	21.5N	130.8E	NNE	11	1013.0	31.12	22.5N	131.2E
天昭丸	川崎汽船	中島 宏	航海士	印度～シンガポール	29～31	1011.0	SW	05	29.00	05.8N	84.0E	ESE	08	1012.2	30.12	05.8N	89.4E
新興丸	関西汽船	益山 肇	岸 繁雄	大阪～高雄	30～31	1016.5	N	12	31.12	23.6N	124.0E			同左			
あんです丸	大阪商船	蔵重 恒雄	航海士	神戸～羅府	32年2月4～16	1008.7	E	17	9.03	35.5N	179.7E	N	36	1009.0	8.15	35.4N	176.5E
あんです丸	〃	〃	〃	クリストバル～ロンドン	32年3月5～13	1000.7	W	25	11.06	41.7N	26.0W	WNW	36	1001.0	11.00	41.0N	27.6N
あんです丸	〃	〃	〃	羅府～横横	32年5月1～16	994.2	NE	16	15.06	37.6N	153.3E	W	38	1001.0	14.00	38.7N	158.0E
箱根山丸	三井船舶	上垣内 正	〃	横浜～バンクーバー	32年2月17～26	978.0	S	28	21.12	48.3N	175.7W	W	40	1001.5	17.12	38.2N	148.0E
箱根山丸	〃	〃	〃	コロン～ルハーブル	32年3月25～30	996.0	WNW	38	27.18	38.8N	35.8W	WNW	41	1004.0	26.12	36.4N	46.0W
箱根山丸	三井船舶	〃	航海士	シンガポール～マニラ	32年5月23～24	1006.5	ESE	10	23.09	09.9N	111.0E	SSE	14	1009.0	23.15	10.8N	112.3E
箱根山丸	〃	〃	〃	マニラ～釜山	32年5月27～28	1008.0	SSW	16	27.12	22.6N	121.7E	S	20	1009.0	28.03	26.5N	124.4E
箱根山丸	〃	〃	〃	玉野～ポートランド	32年6月19～28	995.0	S	13	23.12	47.5N	177.9E	N	23	1000.5	22.21	46.8N	171.7E
箱根山丸	〃	〃	〃	ポートランド～名古屋	32年7月11～21	1004.5	NNW	17	20.15	38.0N	146.8E	SSE	24	1006.0	20.09	39.0N	148.9E
彦根丸	日本郵船	北吉 平義	〃	神戸～ボンベイ	32年7月1～29	1003.7	SSE	08	9.09	12.1N	109.6E	SSW	21	1006.7	2.09	30.8N	132.2E
美邦丸	武庫汽船	林田 新吉	長尾 徹	パツパハ～釜石	32年7月14～20	1004.8	WSW	25	16.09	11.8N	112.8E			同左			
乾隆丸	乾汽船	川井 源一	航海士	日本～比島	32年7月20～25	1008.5	W	05	20.18	28.5N	132.9E	WNW	10	1011.0	21.00	27.5N	132.5E
美邦丸	武庫汽船	林田 新吉	長尾 徹	門司～シンガポール	32年8月3～9	1006.3	SSW	14	8.06	10.1N	111.1E	W	25	1008.2	9.06	05.9N	107.7E
すえず丸	大阪商船	中山恭四郎	金子 賢次	神戸～アデン	32年8月4～21	1002.0	SW	30	21.12	12.9N	54.4E	SSW	38	1006.5	21.06	12.7N	55.7E
乾隆丸	乾汽船	川井 源一	航海士	比島～日本	32年8月6～9	1006.0	WSW	09	7.21	25.6N	131.1E	W	11	1007.5	8.03	26.8N	131.5E
木曽春丸	新日本汽船	松本 忠一	〃	横浜～羅府	32年8月7～11	1007.0	SE	09	7.03	38.0N	147.0E	SSE	22	1018.2	11.00	46.2N	177.4E
月光丸	三光汽船	北川 益衛	〃	神戸～モンバサ	32年8月7～28	1004.0	SSE	10	13.12	14.4N	112.3E	SW	21	1007.5	15.03	07.7N	108.4E
美邦丸	武庫汽船	林田 新吉	長尾 徹	パツパハ～八幡	32年8月21～27	1003.4	S	20	25.09	19.8N	119.8E	WSW	25	1006.8	22.18	09.6N	110.7E
辰春丸	新日本汽船	英 将三	中矢、長谷	神戸～香港	32年8月24～26	1001.5	E	06	26.09	22.0N	115.3E	N	16	1002.5	26.00	21.9N	117.6E
山国丸	山下汽船	寺内 三郎	航海士	横浜～羅府	32年8月27～31	1002.5	ENE	16	31.00	45.7N	173.5E	SSW	21	1012.0	29.06	42.7N	159.1E

各船舶からの海上気象報告 （1957年11月）

11月中に各船舶から神戸海洋気象台に寄せられた船舶気象観測報告は北太平洋航路11通、南方航路32通、大西洋航路２通の計45通であつた

北太平洋航路で観測された最低気圧は神戸丸の980.0mb（15日）、最大風速は乾洋丸のNW•47knot（５日）、南方航路では最低気圧を辰宮丸が999.0mb（10日）最大風速を木曽春丸がE•55knot（10日）と夫々観測している。

第１表に11月中に観測された暴風観測表（風速34knot以上）を第２表に各船舶の最低気圧及び最大風速の観測表を示すと共に貴重な観測資料を御提出願つた各船舶に対して深く感謝の意を表します。

第１表　暴風観測表　（1957年11月）（時刻はG.M.T）

船名	暴風		最強風		位置		最低気圧		暴風	
	始日	風向	風向風速	日時	緯度	経度	気圧	日時	終日	風向
山国丸	4	SSW	NNW45	4. 21	35.7N	169.1E	984.0	4. 18	5	N
乾洋丸	4	SW	NW 47	5. 03	34.8N	173.8E	997.0	4. 21	5	N
乾国丸	8	NW	NW 37	8. 09	36.7N	149.6E	1007.0	8. 03	9	NNW
山国丸	8	W	NW 38	8. 12	35.5N	149.1E	1007.0	7. 18	8	NW
乾洋丸	8	WNW	WNW36	8. 15	34.6N	154.1E	1008.0	8. 06	8	NW
木曽春丸	10	E	E 55	10. 09	18.3N	129.4E	1004.0	10. 18	10	SE
神戸丸	12	SW	SW 45	12. 06	50.4N	149.3W	982.2	12. 06	13	WNW
高宗丸	12	NW	NW 37	13. 06	47.5N	159.1W	989.6	9. 12	13	NW
日川丸	20	SSW	SSW37	20. 12	33.9N	73.8W	1009.5	20. 12	20	WNW
神戸丸	23	WNW	WNW37	23. 00	44.4N	154.0E	1008.5	22. 00	23	NW
あんです丸	23	W	W 34	23. 06	42.3N	158.1E	997.8	25. 06	23	WNW
相模丸	27	W	W 40	27. 00	38.8N	177.6W	1016.0	27. 00	27	W
あんです丸	27	S	S 41	27. 06	47.1N	168.3W	998.9	27. 06	28	WSW
相模丸	28	SSW	WSW43	28. 18	38.8N	170.0E	1001.5	28. 21	29	WNW

各船舶からの海上気象報告　（1957年11月）

第 2 表　Reports of Ships' Weather Observations.　(Nov. 1957)　時刻G.M.T.

船名	会社名	船長	担当者	航路 自～至	航海期間 1957年11月	最低気圧	その時の風向	その時の風速	観測日時	観測位置 緯度	観測位置 経度	最大風速 風向	最大風速 風速	その時の気圧	観測日時	観測位置 緯度	観測位置 経度
相模丸	日本郵船	三鍋 祐三	北条、山口	リバプール～パナマ	1～8	1009.5	E	24	8. 06	12.3N	76.0W			同	左		
乾洋丸	乾汽船	新藤 光造	航海士	ポートランド～横浜	1～10	997.0	SW	40	4. 21	34.8N	174.0E	NW	47	1006.5	5. 03	34.8N	173.8E
山国丸	山下汽船	寺内 三郎	航海士	桑港～横浜	4～10	984.0	WNW	40	5. 18	35.7N	169.6E	NNW	45	996.5	5. 21	35.7N	169.1E
日川丸	日豊海運	前田秀太郎	航海士	リオデジヤネイロ～バルチモア	6～20	1009.0	E	18	12. 06	01.0N	43.2W	WSW	37	1009.5	20. 12	33.9N	73.8W
高宗丸	大同海運	門広 悟	航海士	横浜～桑港	7～16	989.6	WNW	09	9. 12	45.9N	170.6E	NW	37	1021.5	13. 06	47.5N	159.1W
乾国丸	乾汽船	木谷 栄	光石 一彦	東京～ポートランド	8～23	985.5	SSW	06	15. 06	47.0N	176.5W	NW	37	1008.0	8. 09	36.7N	149.6E
松盛丸	松岡汽船	和気 浩	白井 忠彦	北米～横浜	8～24	1000.0	S	20	15. 18	43.4N	161.8W	WSW	30	1021.5	12. 18	39.1N	142.2W
神戸丸	日本海汽船	大西 正作	航海士	クースベイ～東京	8～25	980.0	WSW	14	15. 18	51.6N	165.7W	SW	45	982.2	12. 06	50.4N	149.3W
乾洋丸	乾汽船	新藤 光造	航海士	横浜～ロングビユー	15～25	999.5	NNE	09	23. 03	49.9N	150.1W	W	21	1016.5	16. 03	41.1N	151.7E
相模丸	日本郵船	三鍋 祐三	北条、山口	羅府～神戸	21～12月1	1001.5	W	33	28. 21	38.8N	169.3E	WSW	43	1007.5	28. 18	38.8N	170.0E
あんですす丸	大阪商船	市川 義雄	航海士	横浜～桑港	21～12月1	997.8	W	26	25. 06	44.9N	173.6E	S	41	998.9	26. 06	47.1N	168.3W
乾昇丸	乾汽船	帯田 久男	武田 孝実	ニユーオーリンズ～清水	22～12月1	1007.5	WSW	28	25. 06	33.7N	178.8W			同	左		
山姫丸	山下汽船	五条 橘夫	中村 公遊	日本～北米	28～30	982.0	SW	22	30. 03	48.6N	165.4E	WSW	25	984.0	29. 21	48.0N	163.1E
辰春丸	新日本汽船	英 将三	中矢、長谷	シンガポール～門司	10月30～6	1009.0	NNE	17	10月31. 21	07.9N	109.0E	NE	19	1011.5	3. 18	17.2N	117.5E
富士川丸	川崎汽船	下郷 久次	藤玉 善範	横浜～メナ	1～8	1005.0	NE	03	4. 09	09.8N	75.2E	NNW	15	1008.8	7. 09	23.0N	59.6E
竜神丸	川崎汽船	佐藤 正義	高野、高島	大沽～ボンベイ	1～12	1009.0	NE	13	4. 18	07.9N	109.6E	NE	23	1012.1	1. 06	17.9N	118.3E
乾隆丸	乾汽船	上神 久美	航海士	Leih～宮古	1～3	1013.5	NNE	20	1. 06	25.0N	132.4E			同	左		
山月丸	山下汽船	佐野 俊範	航海士	神戸～マニラ	4～14	1003.0	NNE	25	11. 06	19.3N	121.0E	NNE	27	1007.0	11. 15	20.9N	122.2E
ひまらや丸	関西汽船	藤谷 治	吉田 信次	ズンゲン～釜石	4～11	1008.0	NE	16	4. 06	08.0N	107.1E	NNW	32	1010.7	11. 06	28.5N	127.8E
すえず丸	大阪商船	中山恭四郎	金子 賢次	マニラ～釜山	4～6	1013.0	NE	18	4. 09	21.1N	120.9E	NE	20	1014.0	4. 06	20.4N	120.8E
東明丸	東和汽船	小島 盛長	宮前 修	日本～サンダカン	5～9	1014.0	SW	15	5. 06	30.7N	133.3E			同	左		
大昭丸	川崎汽船	中島 宏	航海士	シンガポール～神戸	6～14	1009.6	NNE	10	6. 06	07.5N	108.8E	NNE	30	1011.5	11. 12	22.7N	122.7E
関西丸	関西汽船	関屋 文男	鉄屋 史郎	比島～大阪	6～11	1009.0	E	07	6. 09	11.6N	126.3E	ENE	24	1017.5	9. 12	25.2N	130.6E
月光丸	三光汽船	北川 益衛	航海士	アフリカ～日本	7～23	1008.3	ESE	08	8. 12	05.7N	92.7E	ENE	25	1021.0	23. 06	22.2N	115.5E
新興丸	関西汽船	益山 肇	岸 繁雄	高雄～神戸	7～9	1015.4	NNE	20	7. 09	24.9N	123.0E	NE	26	1017.3	7. 21	25.2N	123.2E
木曽春丸	新日本汽船	松本 忠一	航海士	若松～タクロバン	8～11	1004.0	SE	30	10. 18	16.9N	129.7E	E	55	1005.5	10. 09	18.3N	129.4E
雄光丸	甲南汽船	西井直四郎	岡本 良一	門司～マニラ	9～12	1005.0	ENE	25	12. 06	19.7N	121.0E	NE	30	1005.5	12. 09	19.0N	120.5E
辰宮丸	内外汽船	益田 時房	航海士	リアンガ～東京	10～15	999.0	WSW	20	10. 06	10.8N	129.3E	NE	25	1011.5	13. 09	24.8N	134.1E
富士川丸	川崎汽船	下郷 久次	藤田 善範	メナ～横浜	12～29	1007.9	Calm	—	17. 09	06.6N	79.1E	NNE	28	1025.2	29. 06	33.2N	134.8E
しとにい丸	大阪商船	安村 扶	航海士	神戸～マドラス	8～24	1010.4	NE	03	22. 12	10.3N	89.9E	NE	18	1013.5	8. 12	19.7N	118.5E

船名	会社名	船長	担当者	航路（自～至）	航海期間 1957年11月	最低気圧	その時の風向	その時の風速	観測日時	観測位置 緯度	観測位置 経度	最大風力 風向	最大風力 風速	その時の気圧	観測日時	観測位置 緯度	観測位置 経度
さばん丸	乾汽船	馬越英棧	航海士	シンガポール～下津	13～21	1008.0	N	10	17. 09	18.3N	119.5E	NNE	21	1015.0	18. 12	22.1N	122.1E
新興丸	関西汽船	益山肇	岸繁雄	神戸～高雄	16～18	1010.0	NNE	12	16. 18	29.4N	126.7E	NE	20	1011.7	16. 09	30.1N	128.1E
山国丸	山下汽船	寺内三郎	航海士	八幡～ララツプ	19～22	1012.0	N	15	21. 21	14.8N	123.0E	N	28	1013.5	19. 12	27.8N	128.6E
乾隆丸	乾汽船	上神久美	航海士	名古屋～ザンボアンガ	19～23	1008.5	N	22	19. 09	29.4N	132.3E			同左			
東明丸	東和汽船	小島盛長	宮前修	サンダカン～名古屋	21～26	1014.0	N	19	21. 06	14.8N	125.1E	ENE	23	1017.0	25. 06	27.5N	130.9E
辰宮丸	内外汽船	益田時房	航海士	横浜～マニラ	21～24	1013.5	ENE	12	22. 21	26.0N	129.2E	NE	20	1014.0	22. 06	28.6N	131.0E
木曽春丸	新日本汽船	松本忠一	航海士	ダバオ～東京	22～25	1010.0	NNE	15	22. 06	11.6N	128.5E	ENE	27	1016.0	24. 21	25.4N	134.1E
箱根山丸	三井船舶	上垣内正	航海士	シンガポール～釜山	22～28	1011.0	ENE	23	22. 06	05.3N	107.1E	N	26	1026.5	28. 03	28.3N	125.7E
関西丸	関西汽船	関屋文男	鉄屋史郎	門司～大阪	22～23	1023.0	N	18	23. 09	27.5N	123.6E			同左			
新興丸	関西汽船	益山肇	岸繁雄	高雄～門司	23～26	1016.5	NE	18	25. 21	30.2N	127.1E	ENE	25	1017.0	25. 06	28.9N	126.2E
さばん丸	乾汽船	馬越英棧	航海士	下津～シンガポール	26～30	1011.0	NE	15	30. 21	13.8N	114.8E	NE	19	1014.5	30. 00	17.0N	118.1E
山国丸	山下汽船	寺内三郎	航海士	ララツプ～大阪	26～29	1014.5	NE	16	26. 15	15.7N	123.2E	NE	22	1022.0	28. 15	25.4N	128.4E
浅間丸	日本郵船	山梨亀太郎	武田昭男	ポートサイド～ペナン	27～28	1010.0	ENE	12	27. 12	05.8N	91. 8E	ENE	15	1012.0	27. 18	05.9N	93.7E
雄光丸	甲南汽船	西井直四郎	岡本良一	ダバオ～インチヨン	28～30	1012.0	ENE	10	28. 09	10.6N	126. 5E	NE	16	1018.0	30. 18	22.3N	125.7E
ひまらや丸	関西汽船	藤谷治	株丹、神原	門司～香港	28～29	1025.9	N	14	29. 06	27.6N	123. 2E	NW	20	1027.0	28. 09	31.0N	126.6E
箱根山丸	三井船舶	上垣内正	航海士	小樽～バンクーバー	8月21～29	987.0	SSE	15	25. 06	49.8N	173.2W	S	25	1004.0	26. 18	50.3N	155.3W
日川丸	日豊海運	前田秀太郎	航海士	フリータウン～リオデジヤネイロ	10月24～30	1010.0	NW	11	24. 06	05.5N	15.6W	SE	22	1013.0	26. 00	01.5S	23.0W
竜神丸	川崎汽船	佐藤正義	高野、高島	大沽～シンガポール	10月28～31	1011.0	ESE	14	28. 09	29.8N	123.7E	NNW	22	1014.6	28. 18	28.5N	123.9E
浅間丸	日本郵船	山梨亀太郎	武田昭男	西航欧洲	8月22～30	1002.3	SSE	06	27. 09	19.1N	112.4E	SSW	20	1003.5	28. 03	14.7N	110.2E
浅間丸	日本郵船	山梨亀太郎	武田昭男	西航欧洲	9月 5～11	1007.5	WSW	24	6. 12	05.8N	83.9E	WSW	25	1009.5	6. 18	05.9N	82.4E
日川丸	日豊海運	前田秀太郎	航海士	西アフリカ	8月30～ 9月25	1005.1	ESE	07	6. 06	12.7N	109.6E	ESE	27	1014.0	18. 12	14.0S	67.7E
松盛丸	松岡汽船	和気浩	白井忠彦	中南米	8月22～31	990.5	WNW	25	27. 00	49.4N	178.4W	SE	27	991.3	30. 18	50.7N	142.7W
協優丸	協立汽船	山田節郎	航海士	釧路～バンクーバー	7月31～ 8月 9	993.0	NNE	16	3. 15	50.1N	178.6E	NNE	35	998.0	3. 06	50.0N	176.1E
協優丸	協立汽船	山田節郎	航海士	Callao～ホノルル	10月 2～14	1011.0	SSW	15	10. 00	08.1N	120.8W	NE	25	1013.5	13. 03	14.8N	136.9W
協優丸	協立汽船	山田節郎	航海士	ホノルル～横浜	10月19～30	1007.8	WNW	32	28. 09	30.2N	151.3E	WSW	33	1009.0	28. 09	30.4N	150.8E

The Kobe Marine Observatory

Journal of Oceanography

2nd Series Vol. 9 No. 1

CONTENTS

Published by

THE KOBE MARINE OBSERVATORY

April 1958